

研究科・学部教授会議事録（平成28年3月7日（月））

I 平成28年2月15日（月）開催の研究科・学部教授会議事録について、確認の結果、これを承認した。

II 協議事項

1. 平成28年度個別学力検査等前期日程の合格者判定について

研究科長から協議資料に基づき説明があり、協議の結果、合格者を決定した。

2. 平成28年度私費外国人留学生特別入試の合格者判定について

研究科長から協議資料に基づき説明があり、協議の結果、合格者なしとした。

3. 卒業者の認定について

学務会議議長から協議資料3に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

4. 楠本賞受賞者、学士学位記受領代表者及び薬学部賞受賞者の選出について

学務会議議長から協議資料4に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

5. 研究生の在学期間の延長について

研究科長から、協議資料5に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

6. 科目等履修生の入学について

学務会議議長から協議資料6に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

7. ゲストスピーカーについて

学務会議議長から協議資料7に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

8. ナンバリングの導入について

学務会議議長から、本件は学務会議での継続審議となったため、今回の教授会議題からは取り下げる旨発言があった。

9. 教員人事について

①細胞生理学分野特任助教（常勤）について

細胞生理学分野特任助教（常勤）候補者について、選考投票を行った結果、採用を承認した。

②SATREPS 特任助教（常勤）について

応用環境生物学分野教授から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

③「創薬プロセスの架け橋となる iPS 細胞基盤技術構築プロジェクト」に係る人事について

研究推進会議議長から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

④革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業に係る人事について

研究推進会議議長から、標記のことについて説明があり、協議の結果、これを承認した。

⑤科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成プログラム）に係る人事について

研究推進会議議長から、標記のことについて説明があり、協議の結果、これを承認した。

⑥創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業に係る人事について

細胞生理学分野教授から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

⑦先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発に係る人事について

応用環境生物学分野教授から、標記のことについて説明があり、協議の結果、これを承認した。

⑧文部科学省特別経費「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発」に係る人事について

応用環境生物学分野教授から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

⑨文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「地域チーム医療を担う薬剤師養成プログラム」に係る人事について

応用環境生物学分野教授から、協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

⑩薬剤学分野助教について

研究科長から、標記のことについて薬剤学分野助教の後任として、分子生物学分野助教を異動させたい旨説明があり、協議の結果、これを承認した。

10. 各種委員会委員の選出について

研究科長から、協議資料10に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

11. 招へい教員等の受入について

応用環境生物学分野教授及び医療薬学分野教授から、協議資料11に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

12. AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）、医学部附属病院未来医療開発部への人材派遣について

研究科長から、標記のことについてAMEDへ分子合成化学分野准教授、及び神経薬理学分野助教を派遣したい旨説明があり、協議の結果、これを承認した。また、医学部附属病院未来医療開発部への派遣候補者については、現在、応用環境生物学分野教授に対応を依頼している旨報告があった。

13. 大阪大学薬学研究科レンタルラボ施設利用規程の一部改正について

予算・施設会議議長から、本件については不備があったので今回の教授会附議を取り下げる旨発言があった。

14. 第14回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム（PPF2016）について

高分子化学分野准教授から、協議資料14に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

15. 系（化学、生物、環境）の完全廃止と領域の立ち上げ

研究科長から、標記のことについて説明があり、協議の結果、学務会議及び新分野設立WGでの検討、及び将来計画委員会での案出しを承認した。

16. 附属創薬センターのチャレンジユニットに独立分野（准教授対象）の設置

研究科長から、標記のことについて説明があり、協議の結果、将来計画委員会から案出しすることを承認した。

以上